

就業体験型プログラム 実習日誌・評価表 〔 2025 〕年度

「株式会社」や「社会福祉法人」等
省略せずに正式名称を記入

| | | | |
|------|----------------------|----------------|--|
| 実習先 | 特定非営利活動法人大学コンソーシアム大阪 | | |
| 実習期間 | 自 | 8 月 4 日 (月) | |
| | 至 | 8 月 15 日 (金) | |

実習最終日も忘れず記入

| | | | |
|------------------|-------------|-------|------|
| 在籍大学 (院) 名 | 大阪コンソーシアム大学 | | |
| 学部・学科 (研究科) | 経営 学部 | 経営 学科 | 研究科 |
| 氏名 | 紺素 太郎 | 学年 | 3 年生 |

特定非営利活動法人 大学コンソーシアム大阪

*** 評価表 ***

※実習最終日にもれなく記入のこと。

実習先 特定非営利活動法人大学コンソーシアム大阪

実習生氏名 紺素 太郎

実習で学んだことを総括しましょう。
この経験を今後どのように生かしたいか念頭に置き、
しっかり文章でまとめてください。
(1~2行で終わることの無いようにしてください。)

学生欄

・実習で学んだことや得たこと

事務の仕事は、パソコンの前でデータ入力したり、電話やメール対応ばかりだと思っていましたが、全くの思い違いでした。講義会場の設営や野外での来場者の誘導など、体力が必要な仕事もあり日頃の運動不足がたたったり、職員のみなさんには大変ご迷惑をおかけしました。

・学んだことや得たことを今後どのように活かしていきたいか

今回手に入れた視点や考え方を忘れず、新しいものを手に入れられるよう意識して生活する。社会人は他人から言われなくても自主的に動いて何かをする人、臨機応変に対応できる柔軟な人であり、企業や上司はそれを求めているからこれからの生活の中でもそれらを意識して将来生かしていけるように頑張りたい。

・実習前の自分と実習後の自分はどうか変わったか

就活について、自分の進みたい道が全く決まらず、時間だけが過ぎていったが、今回の実習である程度みえてきた。周りを見て行動できる人に常日頃からなりたいたいと思っていたが、少しはできるような気がする。

・実習全体を通しての気づきや感想

今回実習させていただいた部署では、毎日多くのイベントや講座が行われており、内容がすべて違っていたので臨機応変な対応が本当に難しかったです。今回の実習にあたり受入の準備をいただいた方、すべての方に感謝します。ありがとうございました。

実習先欄

| | | | |
|------|-----------|--------|----|
| 実習期間 | 月 日 ~ 月 日 | 実習総時間数 | 時間 |
|------|-----------|--------|----|

| | | | | | | | | | |
|------|---|----|---|----|---|----|---|----|---|
| 実習日数 | 日 | 出席 | 日 | 欠席 | 日 | 遅刻 | 日 | 早退 | 日 |
|------|---|----|---|----|---|----|---|----|---|

実習部署および職種

評価・所見

※実習最終日、実習日誌・評価表は実習先に提出して帰ってください。(持ち帰らないこと)

実習責任者氏名